

科目名（英文表記）	特別講義I（ジャーナリストの視点からみた企業変革） Special Lectures I（Corporate transformation by the journalist's perspective）		
科目区分	発展科目	単位数	2 単位
担当教員名	五味 宏（非常勤講師）	ナンバリング	MBA_E_SL5311
研究室番号	—	研究室電話番号	—
Eメール・アドレス	gomi@stv.co.jp		

**授業の内容及び方法：**次頁以降に記載

本授業の目的は、受講者自らが経営者や事業部単位のリーダーとしての役割を果たす際に、経営変革を実践するために重要な「視点」を養うことにある。その視点とは、「聞く力」「話す力」「まとめる力（文章力、編集力）」を構成要素とする課題発見の視点である。本授業では札幌テレビ放送（STV）解説委員が講師となり、道内企業の経営者を題材に、視聴覚教材（実際に放送された番組のVTR）の視聴や道内の経営者や事業責任者を招いての講話・インタビューを通して、企業経営における実践的な発想や感覚を汲み取りながら、経営変革のポイントを探る。

授業では、各種の教材をもとに、MBAホルダーとして欠かせない「聞く力」「話す力（プレゼン力）」「まとめる力（文章力、編集力）」を磨く一方、企業経営者（事業責任者）に直接インタビューすることで、企業経営に内在する課題を発見し掘り下げる力、すなわち「視点」を身につけるように、インタラクティブな授業運営を基本とする。

受講者は、毎モジュールで課せられる課題をレポート（事前課題・事後課題）やパワーポイント資料（最終課題）にまとめるとともに、受講者相互によるディスカッションおよび講師からの論評に供されることを通して、経営変革をみる「視点」を磨き上げることを到達目標とする。

**テキスト：**

- ・「3秒で心をつかみ10分で信頼させる聞き方・話し方」  
（元・日本テレビ解説委員・小西美穂、ディスカヴァー・トゥエンティワン、2017年）

**参考文献：**

- ・「たった一言で印象が劇的に変わる！話し方ドリル」  
（元・札幌テレビアナウンサー・神原智己、綜合法令出版、2022年）
- ・「伝える技法～プロが教える苦手克服文章術」  
（元・北海道新聞社・高田昌幸、旬報社、2015年）

**成績評価の方法：**

- 1.課題の提出 事前課題 30% 事後課題 30% （締め切り厳守）
- 2.授業の参画度 20% 発言回数に加えて、発言から触発された他の受講者の学習に対する貢献を求める。
- 3.最終課題 20% 企業経営者（事業責任者）に直接インタビューし、自らの「視点」から見いだした企業経営上の強みと課題を、パワーポイント資料としてまとめ、発表する。

**履修上の注意事項：**

1. 受講者の人数にもよるが、モジュール8の講義を延長し、第16時限を行う。
2. 企業経営者のインタビューは、都合により日程や内容を変更することがある。
3. また、シラバスに修正すべき点が生じた場合には、シラバスの訂正版もしくはmanabaの掲示板で告知するので、留意すること。成績評価に不服がある場合には、教務委員会委員長宛に不服申立書（書式自由）を提出すること。